

# 市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報情報課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援

令和4年1月1日号への掲載の申込みは、11月11日(火)までに、広報情報課

✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

※2019年8月から掲載要項・申込用紙が変更になっています。確認の上、申込みしてください。

広報みしま	締切日
令和4年2月1日号	12月21日(火)
令和4年3月1日号	令和4年1月20日(休)
令和4年4月1日号	令和4年2月23日(休)

## 【申込みの注意事項】

- ・紙面に限りがあるため、掲載できない場合や、内容を省略する場合があります。了承のうえ、お申込みください。
  - ・掲載の可否は原稿の確認の連絡をもって代えるものとし、掲載不可の場合には連絡しません。
  - ・掲載は無料
  - ・掲載基準を必ず確認し、了承のうえでお申込みください。
- ※掲載基準などの詳細は市ホームページ



▲市民活動団体応援コーナー詳細

## 文化

### オンライン「心のままアート展 2021」

アートを通じて障害を抱える人々を身近に感じよう。アート展はホームページで開催します ▶ <https://kokoronomama.wixsite.com/iroin-art> 11月1日(月)から 特別支援学校・支援学級の在校生や卒業生などの作品 無料 障害者のしごとを考える母の会・沼田 ✉kokoronomama.art@gmail.com

### 愛と平和をうたう

#### 夢の Duet Concert in 三島

12月10日(金) ▶ 開場：午後1時 ▶ 開演：午後2時 市民文化会館大ホール ▶ 出演：オクサーナ・ステパニョックさん、秋川雅史さん ▶ 曲目：アヴェ・マリア、ラ・カンパネラ、子犬のワルツ、オペラ「椿姫」より「パリを離れて」、千の風になってほか 一般5,000円(前売り4,000円) ※チケット取扱い ▶ やまがた楽器店 ▶ 市民文化会館 柴原 ☎090・3533・3326

### タイムスリップ!文化財ムラカミ屋 de こどもアートの探検と冒険!

12月3日(金) 午前11時~午後0時30分 ② 12月4日(土) 午前10時~11時30分 ③ 午後1時~2時30分 ④ 午後3時~4時30分 ⑤ 12月5日(日) 午前10時~11時30分 ⑥ 午後1時30分~4時 会場 ムラカミ屋(大社町18・5) ① 創作展(期間中常設展示) ①~⑤ 企業廃材 de こどもワークショップ ⑥ 上映会、対談 創作展、上映会、対談は無料 ▶ ワークショップのみ700円 各回こども6人程度(ワークショップのみ) ムラボキュリオ・榎本 ☎090・6560・5681

## 第10周年記念 toshiki 二胡学院発表会!

人の声のような優しい音色を奏でる中国古来の伝統楽器二胡! 演奏する生徒たちは発表会に向け練習を積んできましたので、ぜひその成果をお聴きください! 11月21日(日) 午後0時30分 生涯学習センター3階 講義室 無料 toshiki 二胡学院・高橋 ☎090・3309・6659

## その他

### 第38回核兵器をなくし平和をつくる 三島市民のつどい

11月27日(土) ▶ ロビー展示：午前10時 ▶ 開場：午後1時 ▶ 開演：午後1時30分 市民文化会館小ホール ① 紙芝居「ぼらの祈り」 ② 平和へのメッセージ「核兵器禁止条約」の発効の年によせて ③ 川口真由美ピースコンサート 小学生以上500円(協力券) 核兵器をなくし平和をつくる三島市民の会・加藤 ☎986・3180

### 市民向け防災講座&災害VC スキルアップ講座

12月12日(日) 午後1時~5時 社会福祉会館またはZOOM ① 小村隆史さん(常葉大学准教授) ② 畠孝幸さん(三島市危機管理課課長) ③ 園崎秀治さん(オフィス園崎代表) ④ 井上公康さん((福)沼津市社会福祉協議会地域福祉係主事) 無料 定員80人 11月30日(火)までに 樽矢尚和 ✉n.taruya@gmail.com

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、掲載した事業を中止・延期または内容変更する場合があります。

# 歴史の小箱

No.402

古代に営まれた集落の跡  
— 中の金沢遺跡 —

今回は、現在開催中の企画展「三島のはじまり 旧石器〜古墳時代」でとりあげた遺跡の中から、古墳時代以降、集落として利用された「金沢遺跡」について紹介します。

金沢遺跡は、菰池を水源として市内を南下する御殿川の東岸、鶴喰橋バス停北側の、中の住宅街に位置しています。

平成三年、マンションの建設にもなつて発掘調査が行われました。その際、三十五軒の竪穴住居の跡が見つかり、この地がかつて集落として利用されていたことがわかりました。

郷土資料館では、企画展「三島のはじまり 旧石器〜古墳時代」を開催中！（12月19日（日）まで）

郷土資料館（楽寿園内） ☎ 971-8228



▲金沢遺跡空撮



▲古墳時代の住居跡拡大

利用の時期は、住居跡から見つけた土器の型式の調査により、古墳時代から平安時代にかけてのことと判明しました。この期間中、何度か人の利用が途絶える時期もあったようです。

当時の人々は、「竪穴住居」と呼ばれる形態の家に暮らしていました。地面を掘って床を作り、そこに柱を立てて屋根を載せたもので、半地下式の構造をしていました。人々が定住生活を営むようになった縄文時代には、床面を丸く作るのが主流でしたが、時代が新しくなるにつれ、四角形に作るようになりました。大きさは時期によってまちまちですが、左写真の住居跡（古墳時代の四〜五世紀のもの）は、床面積三七〇cm×三一〇cm程の規模で建てられています。

そして、これらの住居跡からは、当時の人々が日常的に使っていたと考えられる土器がたくさん見つかりました。

土器の利用が始まった縄文時代には、煮炊きも貯蔵も深鉢形の土器で行っていました。弥生時代には甕・壺・高坏（脚をつけた浅鉢）という形状の土器が作られるようになり、古墳時代に入ると椀・坏・埴（丸底の壺）という形状の土器が加わります。煮炊き・貯蔵・保存・盛り付けといった場面ごとに適した形の土器を作り、使い分けるようになっていきました。

左の写真は、住居跡から見つかったものです。現在開催中の企画展で実物を展示していますので、楽寿園にお立ち寄りの際は、ぜひご覧になってください。



▲住居跡から出土した古墳時代の土器

## ぼくのおばあちゃん

当番 いしかわ しょうた さん

ぼくのおばあちゃんは、毎日早起きです。ぼくが起きる前に、毎日ウオーキングをしています。  
おばあちゃんは、家の畑で色々な野菜を育てています。じゃがいも、大根、ブロッコリー、きゅうりなどを育てています。ぼくは妹といっしょに、じゃがいものしゅうかくを手伝ったりします。そのじゃがいももおばあちゃんが作ってくれるポテトサラダがとても大好きです。  
大好きなおばあちゃんには、元気に長生きしてほしいです。



石川 寿子 (74才)

石川 翔太 (長次小 6年)